



TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会 会報

第 4 号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

東北初の大学通信教育がスタートした。平成十四年度東北福祉大学通信教育部四月生の入学式が六月二日(日)午前十時四十分から音楽堂「けやきホール」で催された。社会福祉、社会教育、福祉心理の3学科と科目履修生を含めた晴れの一期生は約八百人で、式にはそのうち、北は北海道から南は愛媛県までの二百五十人が参加した。式後、埼玉大学経済学部の小笠原浩一教授が「変化の時代に社会福祉を学ぶ」と題して、記念講演を行った。午後には昼食を挟んで出身地ごとの地区別交流会が開かれるなど、参加者は有意義な一日を過ごした。なお、十月生の募集は七月一日から十月末まで行われ、入学式は十一月二十四日(日)に予定されている。

気持ちは一っ

待ちに待った日がついにやって来た。東北福祉大学通信教育部の入学式。年齢も職業もさまざまなが、どの一期生の顔も期待に満ちあふれた点では一致していた。

式に先立って本学混声合唱団による団歌「さあ友よ、共に歌おう」の歌声がホールにこだました。式では大内真弓講師が司会を務め、萩野浩基学長があいさつに立った。

「二年の計は元旦にありという。通信教育は自分

のように強く意思を持つかで決まる。佐藤一斎とい

う江戸末期に朱子学を学んだ人のことばを皆さんへのプレゼントとしたい。少にして学べば壮にして

東北6県で58%

晴れの一期生となった四月生を出身地別に見ると、宮城県の25%を筆頭に東北六県で全体の58%を占めている。以下、関東が17%、北海道が12%、新潟5%、近畿3%、中部2%と続いている。

入学式の当日午前二時五十二分函館発の急行を青森、盛岡で乗り継ぎ、仙台には同九時過ぎに到着

晴れて入学式 東北初の大学通教

成すことあり。壮にして学べば老いても衰えず。老いて学べば死しても朽ちず。人間の一生は本当に短い。二度とない人生。芸術してく

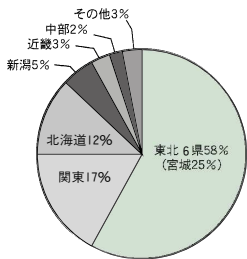
ださい。萩野学長の心のこもったスピーチに新入生は感激した面持ちだった。

新入生を代表して福祉心理学科の青山美智子さんが「第一期生として誇りと自覚を持って、所期の目的を達成することを誓います」と宣誓のことばを述べた。

通学生を代表して宮里優作君(四年)が「皆さんを心より歓迎します。豊かな経験と知識を私たちに教えて

ください」と歓迎のあいさつをした。教職員が一人ずつ紹介され、校歌を歌い心温まる晴れの入学式は無事、終了した。

したという柏谷直美さん(20)市役所職員は「通信教育を始めるのは現状を打破したいからです」と若者らしく力強く語った。



4月生の出身地

続いて、記念講演に先立ち、渡辺信英学部長が「いつ、誰でも、どこでも学べるのが本学の通信教育です。皆さんの選択が正しいかどうかは互いの努力によると思う。お互い努力していきましょう」と力強くあいさつした。

「変化の時代に…」

講演者は、現代日本の社会福祉政策のリーダーの一人と目されている小笠原浩一教授で、テーマは「変化の時代に社会福祉を学ぶ」。

「今、世界も日本も構造的変化の

通信制大学院も開学式

平成十四年度から始まった通信制大学院の開学式が四月六日の入学式の後、231教室で行われた。二十二歳から七十一歳までの年齢層に、ほとんどが社会人という三十七人の新入生が参加し、熱気にあふれた。

通信教育部長に就任した渡辺信じる持続性の決意を持つことが新しい角度からの勉強を可能にするのではない。皆さんの学習の成果を大いに期待する。小笠原教授の丁寧な話

し方に、新入生は興味深く耳を傾けていた。午後からは二号館二、三階の十一教室で地区別交流会がもたれた。昼食を囲みながら、互いに自己紹介をすることで情報交換の場になればとの願いが込められていた。早速

打ち解けた学生同士が連絡先を教え合うなど、ほほましい光景が見られた。娘さんが本学を卒業したという荒海忠彦さん(55)は「皆福祉を学ぼうとする目標は一緒。言わば同志である。差し支えない範囲で横のネットワークをつくり、親睦を図りたい」とエールを送っていた。

図書館や学習に関するガイダンスが行われ、個別相談にも大勢の学生が集まるなど、なごやかな中にも緊張感のある新たな一歩が始まった。



熱気に包まれた開学式

英学部長が「分からないことはメールでも何でも聞いてほしい」と親しみの込めたあいさつをした。続いて大学院総合福祉学研究科の佐藤俊昭科長が「通信は孤独な闘いになる。横の連絡網を作って、気楽に取り組める態勢を敷いてほしい」とアドバイスした。

フィンランドから来訪

北欧の国、フィンランドの使節団一行二十五人が六月五日、本学を視察に訪れた。仙台市と連携して二〇〇四年度内に「フィンランド健康福祉センター(仮称)」を青葉区水の森に建設する計画の一環で、本学も全面的に協力する態勢で臨んでいる。

一行の内訳は企業から十四人、政府機関八人、大使館三人で、午前中に本館四階の大会議室で懇親会が開かれた。本学を代表して渡辺

信英学部長が概要を、斎藤雅英教務部長が教務面を、佐藤俊昭教授が感性福祉研究所をそれぞれ英語で説明した。

場所をレストラン風土に移し、駆けつけた萩野浩基学長が今回の団長を務める通信機器メーカー、トラッカー社のアルト・パピライネン社長と固い握手をかわし、「両国の友好に役立つことを期待する」と歓迎の



アルト団長と固い握手をかわす萩野学長

通信教育部の青柳勉課長が前席に座った二十人の教員一人ひとりを紹介した。さらに図書館のガイダンス説明があり、その後、社会福祉学、福祉心理学の専攻別に分かれ、教員と院生が懇親を兼ねた顔合わせを行った。修士論文の

お問い合わせ(通信教育部・直通)
☎ 022-233-2211
FAX 022-233-2212
<http://www.tfu.ac.jp>

さんだんの里視察

この後、一行は高齢者痴呆介護研究・研修センター(さんだんの里)を視察し、夕方に仙台市主催のレセプションに臨んだ。

翌六日には仙台市内で基本構想会議と、企業12社、フィンランド側の21社が共同参加する福祉機器展が開かれた。

行 学 一 如

テーマに関する指導教官選びも兼ねており、新入生の真剣な表情が印象的だった。

完成が待ち遠しい

東北福祉大学に体育会本部が設立されたのは一九七二年(昭和四十七年)。今年が区切りの三十周年になる。十二月の第二日曜日には大々的なイベントが計画されている。記念行事の一環として、昨年十二月に体育会幹事会が例年発行している「雄飛」特別号制作にあたる編集部が発足した。

部員は体育会幹事会、陸上部から二人ずつ、女子バレーボール部、合気道部から一人ずつの精鋭六人で、学生主体である。いずれも所属する部で主将、主務を務めるなど多忙な身であるが、率先してメンバーに加わったつわものばかり。編集長を決め、記念誌に掲載する項目ごとに担当者を割り振った。月一回、六人が集まれる都合のよい日に編集会議を開いて、互いの進捗状況を報告し合っている。ある者は寄稿者への依頼文をつくり、届ける。他の者は例えば、日の丸を背にして戦った日本代表の選手名簿づくりのため、各部に協力要請文を書いた。何分、初めてのことであり、悪戦苦闘の日々が続いている。しかし、泣き言は出ない。むしろ、楽しんでやろうとする姿勢が頼もしい。作業の中心はいかに原稿を集められるかになる。多くの編集者が締め切り間際に青くなるという話を聞くにつけ、無事発行にこぎつけられるか不安がつきまとう。まだ時間はある、と余裕を見せてはいても、思わぬ障害に出くわすことは想像に難くない。そんな時、どう乗り切るのだろうか。彼らの頑張りを見てみたいと思う。苦勞の結晶がどう実るか、今から記念誌が待ち遠しい。

昭和 47 年
(1972 年)
当 時

祝
体育会が発足
創立30周年

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え今日まで、卒業生数は約二万七千人に達した。二十一世紀を迎えここに大学の時々を振り返る。第4回は今年、創立三十周年を迎えた体育会本部が発足した一九七二年(同四十七年)。当時の初代体育会会長で、今春本学教授に就任した細井計氏に語っていただいた。

20年で日本一に

やがて日本一を勝ち取るようになる体育会本部が誕生したのは一九七二年だった。今年で創立三十周年を迎える。当初は出ると負けのチームが全国制覇を成し遂げようとは誰が予想したことだろう。九一年、硬式野球部の初優勝を皮切りに軟式野球、女子バレーボール、ゴルフ、弓道と「日本一」の勢いは他部にまで伝播した。

を訪れ、日中国交正常化を果たした。

本学においては三月、大久保道舟学長が再任され、学内整備がよいよ本格化した。同月に大倉運動場の用地買収が完了し、七月には旧二号館建設着工と続いた。

五月、梅檀学園の評議員会に高等学校対策委員会が設けられ、高校存続か、移転か、はたまた発展的解消かを大学の発展を鑑みながら、議論されることになった。

当時は学生運動も活発であり、大学と高校が同居することの是非が問われていた。その結果、翌六月に廃止が決定されたが、大学の発展に伴うやむなき処置でもあつた。

昭和四十年代を語る時、大学紛争を抜きには語れない。同四十三年の東大紛争を前後に全国で嵐が吹き荒れていた。体育会本部が設



細井教授

立された同四十七年も例外ではない。当時、助教授で初代体育会会長を務めた細井教授にその頃の状況を語ってもらった。

—— 今から三十年前の本学の様子は。

運動場だった所に三号館を建てることになった。地鎮祭の後、妨害

た。ちなみに五月時点での学生数は一、七九四人だった。

八月の教授会では前年に設置された社会教育学科の定員を五十人から百人に増やすことと、社会福祉専攻科の設置が議決された。いずれも翌一月に文部省から認可が下りた。

外堀を固めつつ中身の整備も着々と進められた。四月に学生相談所がオープンし、医学博士の安田陸郎教授が初代所長に就任。健康相談や医学知識のアドバイスを求める学生でにぎわった。

七月には「東北福祉大学通信」第一号が発行された。冒頭に大久保学長が「発行に当って」と題した文を寄せ



昭和 47 年当時の校舎・正面は研究室

た。そこには学長が抱く建学の精神が見事に提示されていた。同通信は年二回発行され、現在までに第六十号を数えている。

学術面でも日本社会福祉学会第二十回大会が十月、本学で開催され、全国から三百を超す会員が参集した。大会の焦点は、前年度中央社会福祉審議会から起草された「社会福祉法」試案についての諸問題で、活発な論議が交わされ、盛会となった。

この年は本学がさらなる飛躍を遂げるための礎の年でもあった。

しようとした学生が学長室に向かうとした。高橋俊郎さん(現体育会会長)と私で、学生と押し問答をして、時間を稼いだ。その間に学長は平野恵弘さん(現就職課長の車

純朴でいい人が多かった

初代体育会会長・細井計教授

に乗り、脱出することができた。とにかく学生運動が盛んだった。

—— 聞くところによると、学長に呼び出されたことがあったそうですが。

運動系に助成金を出すように話したが、だめだった。そこで後援会の坂田文治会長(当時東北大学歯

こちらは創立50周年
福聚幼稚園

本学の関連施設で最も長い歴史を誇る学校法人「福聚幼稚園」が今年で創立五十周年の区切りを迎えた。一九五三年(昭和二十八)四月、梅檀学園内に「双葉幼稚園」として発足。年長組二組、年少組一組に百十八人の園児でスタートして以来、半世紀の歴史を刻んできた。当時、ぶらんこ一つをとってみても満足な施設はなかったが、皆で力



増築された保育室

を合わせてよい施設を作ろうとする意気込みはすさまじかった。紆(う)余曲折を経ながらも「のさま」の仏教主義に基づいた幼児教育が評価され、二十年後には園児が二百人に近づくまでになった。七四年に学校法人となり「福聚



植樹された3本のもみじの木

明け暮れていた。

—— 今の大学を見ての感想は。

三十年ぶりに来て、見違えた。素晴らしい環境だ。ここだったら勉強したいという気になる。日本人

入試情報

総合福祉学部

入試事務室

TEL 022-717-1331
FAX 022-717-1332

社会福祉学科 (350名)
産業福祉学科 (100名)
社会教育学科 (150名)
福祉心理学科 (100名)
情報福祉学科 (100名)

		6月		7月		8月		9月		10月		
一般選抜	AO入試	1日 30日 第一次選考(6~9月)										31日 第二次選考(随時=10月まで) 学科ごとに与えられた課題と面接により総合判定される。最終合格者は随時(10月まで)発表される。
		提出書類=エントリーシート、活動報告書、調査書(参考程度) 講義受講=7/20、8/25、9/22のキャンパス見学会時受験生の希望日に。 受講後レポート提出し、面接を受ける。 第一次合格者発表は随時行われる。										
特別選抜	専門課程(福祉系)推薦 帰国生徒・社会人入試	1日→7日 出願期間		9日 選考日	14日 発表日	22日 → 手続期間						開催日 時間 開催場所 キャンパス見学会 7月20日(祝) 10:00~16:00 国見キャンパス 8月25日(日) 10:00~16:00 国見キャンパス 9月22日(日) 10:00~16:00 国見キャンパス 10月27日(日) 10:00~16:00 国見キャンパス 大 学 祭
	1日 20日 出願期間		27日→12月1日 選考日	6日 発表日	20日 → 手続期間	社会教育学科 11月27日(水) 社会福祉学科 11月28日(木) 福祉心理学科 11月29日(金) 産業福祉学科 11月30日(土) 情報福祉学科 12月1日(日)						
	一般推薦											
一般選抜	A日程	A日程	社会教育学科 1月28日(火) 社会福祉学科 1月29日(水) 福祉心理学科 1月30日(木) 産業福祉学科 1月31日(金) 情報福祉学科 2月1日(土)		20日 22日 出願期間		28日→2月1日 選考日		8日 18日 発表日 結果通知 手続期間		仙台(本学)のほか下記の地方会場で実施 札幌:札幌予備学院(大通館校舎) 青森:アスパム 東京:東京農工大学(世田谷キャンパス) 新潟:ブラザー文化センター新潟	
			B日程						12日 10日 出願期間			20日 → 手続期間

※有為な人材の本学への推薦を歓迎しております。

頑張ってます

全日本大学対抗戦

第39回全日本大学ゴルフ対抗戦と第25回全日本女子大学ゴルフ対抗戦が六月十八、十九の両日、宮城・利府ゴルフ倶楽部で行われ、本学が見事アベック優勝を飾った。男子が日体大、女子が日大とそれぞれ昨年の王者を破っての堂々たる栄冠。大学創立四十周年、体育会創立三十周年の記念の年に花を添えた。

ゴルフ部がアベックV 体育会30周年に花添える

男子はチームワークの勝利だった。初日、2位の日体大に10打差をつけて首位に立つと、最終日も追い上げる日体大、日大を寄せ付けずに完全優勝。二年ぶり四度目の優勝を奪還した。

宮里主将は「チーム全体で頑張るという理想的な形で成し遂げました。昨年、悔しい思い(準優勝)をしたので、勝ってホッとしました」とほおを紅潮させた。

選手起用もズバリだった。各学年から一人ずつ、一年生だけは二人といった思いきった起用が的中したのだ。阿部靖彦監督は「まさにチーム一丸の勝利でした。宮里一人ではなく、みんなで補い合うといった形。大学の記念の年に優勝できたことが、格別うれしいです」

と感無量の面持ちで話した。個人で最少スコアをマークした選手に与えられるメダリストは二年生の権奇澤選手が受賞した。



アベック優勝を決めたゴルフ部

に花を咲かせた。
なお、ゴルフ部には七月一日、仙

社福士の合格率が50%に接近

第十四回社会福祉士国家試験と第四回精神保健福祉士国家試験の発表が三月二十八日に行われ、本学現役受験者の合格率がどちらも全国平均を上回った。社会福祉士には現役学生二百三十一人が受験し、百十五人が合格、合格率は49・8%に上り、全国平均を20・3ポイント上回った。卒業生六十三人を加えた合計は百七十八人。精神保健福祉士では現役学生三十九人のうち二十八人が合格、合格率は71・8%で全国平均を9・5ポイント上回った。なお、卒業生は二人が合格した。各合格者は四月一日の官報で公告された。

精保士は出足がカギ

社会福祉士国家試験の本学現役受験者の合格率が全国平均と比べて初めて20ポイント以上も上回った。全国の29・5%に対し、本学現役受験者は49・8%で、実にその差は20・3ポイントに及んだ。

本学の健闘が光る背景には新たな試みが見逃せない。昨年十月の後期日程から毎週水曜日の夕方、二号館二階の社会福祉研究室で模擬試験が実施された。延べ百人の希望者が殺到し、問題解説、分析解答用紙の返却まで本番さながらの緊張感が漂った。

こうした学生とスタッフの努力が実って過去最高の合格率につながったのだ。限りなく50%台に近づいたわけだが、指導教員の一人は「50%台に届くには、将来、何を目指すかといった学生自身の目的意識が問われる」と一向に手綱を緩める気はない。

さらに付け加えたいのが、現役受験者でなく卒業生の合格率の厳しさだ。今回は四百三十一人の卒業生が受験し、六十三人が合格。率は14・6%にとどまり、社会に出てからの試験勉強がいかに大変かを物語っている。

それだけに、事情を知る教員は現役学生に対し「一回試しの気持ちではだめ。現役で合格する努力が必要。社会人になってから結果を出すのは難しい」と、愛のムチも忘れない。

今後、社会福祉研究室では解説集、レジュメ集を作成して、希望者に配布する計画を進め、一層の支援体制を築く構えだ。

一方、精神保健福祉士の現役合格率で見ると、現状では全国平均を若干上回っているものの、伸び悩みの傾向がみられ、心配だ。スタッフの一人は「福祉心理の学生で大学院に行くのか、資格を目指すのか、迷っている学生がいた」とスタートの出遅れの影響を指摘した。

試験にじっくりと取り組むためには早い段階からの意思決定が、結局は合格への近道となりそう。

なお、両国家試験の受験資格に関する問い合わせは社会福祉研究室スタッフまで気軽にどうぞ。内線電話は331、332です。

体育会入会式

平成十四年度東北福祉大学体育会入会式が五月二十九日午後六時から本学の福聚殿で盛大に催された。常任幹事会を含め26部から二百三十四人の新入生が加入、総勢は七百八十九人に上り、そのほとんどが一堂に会した。

司会は常任幹事会の熊田大輔幹事長(四年)が務めた。体育会の高橋俊郎会長が「今年は体育会創立三十周年の記念すべき年である。例年以上の成績を挙げられるよう期待する」と激励のあいさつを述べた。

続いて学生部の高橋美由紀部長が「何のためにスポーツをやっているのか、あなた方にとってどういう意味を持つのかを視野に入れて、練習に励んでください」とアドバイスを送った。

学生部の菅本昭夫次長が部のス

第五十一回全日本大学野球選手権大会は六月十一日、東京・神宮球場で開幕した。二十年連続二十度目の出場を果たした本学は、晴れの開会式で選手宣誓の大役を務めた。出場した26校を代表して堂前篤史主将(四年)が「正々堂々プレーすることを誓います」と力強く述べた。東北新幹線が大宮・盛岡間を走ってから二十年、誠に感慨深いものがあった。

▽1回戦
東北福祉大学(仙台六大学)
021 110 001 6
010 000 111 4
日本文理大学(九州地区大学)
▽2回戦
東北福祉大学
000 000 0
014 104 10
亜細亜大学(東都大学)

20年連続出場 硬式野球部

本学は十三日の一回戦で初出場の日本文理大学と対戦。先制し終盤、追い上げられたものの逃げ切って、十八年連続で初戦を突破した。しかしながら、十五日の二回戦では好投手を擁した亜細亜大学に投打ともにいいところなく、今大会で初めてのコールド負けという屈辱を味わったが、今後の糧となることが期待される。

なお、昭和六十二年度の卒業生で、八戸大学を率いた藤木豊監督はチームをベスト8に導く健闘を見せた。



選手宣誓の堂前主将



合同演武会の1シーン

スタッフを紹介。佐藤伊知子副部長が加盟順に硬式野球部から女子ソフトボール部までを紹介すると、新入部員がその都度、立ち上がり拍手で迎えられた。常任幹事会の役員が紹介された後、新入生を代表してラグビー部の橋本勇紀君が壇上で、誓いの言葉を披露した。

この後、学生部と常任幹事会が趣向を凝らした合同演武会が開かれた。他の部がどんなスポーツをし、どんな練習をして、どんな成果を挙げたのかをアピールする。夏の間出であった。

東日本インカレバレー

平成十四年度第21回東日本大学バレーボール選手権大会男女トーナメントが六月二十七日から埼玉県・越谷市総合体育館ほかで行われた。シード校の本学女子は準々

正門脇ファミマOP

東北六県で初めての大学内コンビニが本学に誕生した。大学正門脇にできた「ファミリーマート東北福祉大学店」。三月二十日午前九時を合図に二十四時間営業のスタートを切った。管理運営は本学から委託されている「タフス」が行う。本学の卒業生でもある村山右三社長は「学生サポートの一環であり、皆さんに可愛がっていただきたい」と全力投球の構えだ。

売り場面積は115平方メートル(約35坪)で、購入した弁当がその場で食べられるコーナーが設けられている。品ぞろえは文具類が通常のコンビニ店の倍用意され、大学名が入ったレポート用紙などが販売されている。大学の情報が見られるディスプレイも一台置かれ、行事の確認など学生が立ち止まっただけで見入っている。昨年十月、大学近くにあったコンビニ店が閉鎖。不便をかこっていただけに、待望の新装開店に学生ばかりでなく近所の住民も大喜びだ。



開店した東北福祉大学店

決勝で日本女子体育大と対戦したがフルセットの末、惜敗。男子は昨年同様ベスト16で姿を消した。男女とも十二月に行われる全日本大会で雪辱を果たす。

就職部「LOBとの集い」

昨年の好評を博した就職部の第二回「OBとの集い」が今年も七月十三日に本学で開催され、東北六県北海道、新潟県から「福祉・医療分野」に携る卒業生十五人が参加。三年生を中心にした大勢の学生と全体会、分科会、交流会を通じて互いの親睦を深め合っていた。

キャンパス便り



仙台市の藤井市長と握手をする
桜井主将

全日本大学対抗戦ゴルフ男女成績

男子成績 (パー72、7076ヤード)					女子成績 (パー72、6287ヤード)				
順位	大学	初日	2日目	合計	順位	大学	初日	2日目	合計
1	東北福祉大	280	293	573	1	東北福祉大	312	321	633
2	日体大	290	301	591	2	日体大	313	322	635
3	日大	301	296	597	3	日体大	320	325	645

男女とも5人が出場し、上位4人のトータルスコアで順位が決められる

同窓会

新潟県同窓会では、今年度の事業計画の一環として「福祉大学バスツアー・母校訪問の旅」を実施、去る六月二十八日(金)にバスで本学を訪れた。

新潟県同窓会
母校訪問

同県同窓会事務局は昨年十月「同窓会活動に関するアンケート調査」を行い、回答率は二五%にとどまったものの、そのなかで五%の会員が「大学見学ツアー」を望んでいた。これらのアンケート結果に応えるためのバスツアーであった。



懐かしい学び舎を訪ねて

目を終えた。同夜は仙台市内のホテルに一泊、仙台で過ごした学生時代を語り合う一夜を過ごした。

群馬県同窓会・今年十一月設立へ

群馬県在住同窓生には「おらが県にも同窓会を設立しよう」という気運が早くから見られたが、このたびようやく設立に向けて具体的に動き出した。

すでに準備会も生まれ、設立総会に向けて準備を始めている。

その後、感性福祉研究所をはじめ、関連法人施設である高齢者痴呆介護研究・研修仙台センターを見学し有意義なバスツアーの一日

北海道空知地区同窓会開く

北海道空知地区同窓会は、二月十六日(土)余寒のこたえる日々が続いていた美瑛市の「季節料理のみや川」で開かれた。

同地区同窓会は、昭和五十五年に発足していたが長いこと活動は



再出発に喜ぶ会員

停滯気味のため活動を再開しようと考え開催されたものである。事務局長の稲村秀樹氏(昭49社福卒)から同窓会開催に至る経過が説明され議案の審議に入った。議案は事務局案通り満場一致で了承、その後本学同窓会事務局担当の鈴木春彦氏から「同窓会の現状」について話があり、自己紹介を兼ねた懇親会に移った。

軌道に乗る青森県同窓会

今年度総会盛会裏に終わる

平成十四年度東北福祉大学青森県同窓会第三回総会が、七月六日(土) ホテル青森で開催された。

総会には山内正毅(昭42社福卒)青森県同窓会長の開会あいさつで始まった。議長を山内会長が務め、会は無事終了した。

続いて新たな生涯学習の機会を提供し、福祉専門職の資格取得が可能となる東北地方初の通信教育部の開設が今年四月誕生したのを機会に、その設置学科等の中身について本学通信教育部の青柳勉課



総会後の記念撮影

長から詳細な説明があった。特に要請があつてのことでもあり、県内に住む同窓生の関心の高さを物語り、今後注目される。その後の懇親会は和やかな雰囲気一年振りの再会を楽しんでいた。三年目を迎えた青森県同窓会の運営は順調に軌道に乗った感があり、役員の表情からも今後の運営に自信のほどがうかがえた。

山形県同窓会

山形県同窓会では、今年度の総会を来る八月十七日(土)午後一時三十分からホテルメトロポリタン山形で開催することを決定している。

各県総会開催予定

開催に向けての準備は今年四月上旬に行った第一回準備会を皮切りに、スケジュール表に基づいて総務・渉外企画広報・事務局と仕事を分担し具体的な準備を進めている。

あなたの県にも同窓会設立を
事務局からのお願い

母校と同窓会相互の密接な連携を保つため、本学同窓会事務局では四十七都道府県に同窓会が設立されるよう平成十一年から本格的に取り組んでいるが、思うようには進んでいない現状にあります。母校は今や総合福祉学研究の学術分野はもとより文化・スポーツ分野においても飛躍的發展、迅速

東北福祉大学ホームページ <http://www.tfu.ac.jp>

▽情報をお寄せください

同窓生の身近で行われている会合、例えば地域・職域別やOB・OGの会などの開催、開催予定などの情報を本学同窓会事務局までお知らせください。

事務局では、会員相互の密接な連携のためお役に立ちたいと思っています。どんなミニニュースでも結構です。本会報で広く紹介していきますので、皆さま方からのご協力をお願いいたします。

▽住所等の変更について

同窓会事務局では、同窓生の基礎資料とし、氏名・学籍番号・学科・住所・電話番号・勤務先等を記録管理して、今後大学からの連絡に確実を期すよう努力しています。変更後は速やかにご連絡ください。

▽連絡・お知らせ先

本学同窓会事務局 電話(〇二二二三三三三三) 内線二〇五番 またはFAX(〇二二三三三三三三)まで。

注意 業者によるお誘い

名簿業者による「本学同窓会会員名簿」の発行に關しての勧誘は後を絶っておりません。この件に關し多くの問い合わせが同窓生の皆さんから寄せられています。また電話による氏名・住所・勤務先・携帯電話番号等の聞き取り調査も現実におきています。

これらは本学同窓会とは一切関係ありませんので、ご注意ください。本学同窓会が消息調査を行う場合は、その返信先は大学あてです、その際は、是非ご協力をお願いします。

新潟県同窓会

新潟県同窓会今年度の総会は、九月十四日(土)長岡市で開催が予定され、その準備に入った。

また、例年本学後援で実施されている講演会は十一月中旬、市民にも開放し開催の予定である。

栃木県同窓会

昨年十二月一日に設立総会を開いた栃木県同窓会の第二回目の総会については七月中旬現在未定。

育みの会

今年で十二回目を迎えた保育士課程同窓会「育みの会」が主催する社会福祉専門職ガイダンスが、保育士課程受講者を対象に去る七月六日(土)午後一時半から本学で開かれた。

講師には、老人・母子福祉・児童・保育所関係に勤めている本学の卒業生四名を

著書出版紹介

嶋野重行氏(昭56・社教卒・現岩手大学教育学部附属養護学校教諭)は、今年四月「障害をもつ子どもの保育と教育」を(角)博光出版(本社盛岡)から出版した。

卒業生・異色歌手

異色な演歌歌手のななえゆりさん(本名・佐藤世利江)平6福心卒が八月三十一日、仙台市のイズミティ21大ホールで行われる「羅生門・歌語り」(作・丸目狂之介)に出演する。目標は語りかけ演歌。



濱田助教授

午後には「柳宗悦と民藝運動、および芹沢銈介の活動」について、芹沢銈介美術工芸館の芹沢長介館長が基調講演した。芹沢銈介の生い立ちから柳宗悦との出会い、海外への渡航が七十一歳にして実現した感動などが話された。

また、四月十五日から開催している「アフリカ民族の造形」の関連行事として、六月八日に小川弘氏(栃東京かん代表)が「アフリカの仮面舞踏とその造形」と題した記念講演会が開かれた。予約した六十人が参加。ビデオでマリ共和国のドゴン族の仮面舞踏、ピグミー族の素朴さがにじむ樹皮布などが映し出され、質疑応答でも活発なやりとりがかわされた。

学会とアフリカ展

芹沢銈介美術工芸館を仲介に民族藝術学会が四月二十七、二十八の両日、本学230教室で開催され、外国人を含む約百人の参加者が訪れた。初日は七つの研究発表が行われ、兵庫県立近代美術館の木村重信館長が、芹沢銈介美術工芸館で開催中の特別展「アフリカ民族の造形」にちなんで講演した。懇親会では渡辺信英学部長が「この学会が本学で開催されたことを光栄に思う」と歓迎のあいさつを述べた。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館ご案内

期 間		展 示 内 容		8月1日(木)～9月16日(祝) 夏期休館		12月19日(木)～1月19日(日) 冬期休館	
4月15日(月)～7月31日(水)		特別展: 芹沢銈介コレクションーアフリカ・民族の造形ー併設展: 芹沢銈介作品 (新収蔵品)		9月17日(火)～12月18日(水)	特別展: エディンバラ展開催記念型絵染の巨匠 芹沢銈介併設展: 堤焼・切込焼	1月20日(月)～4月4日(金)	芹沢銈介～型絵染小品～ (仮称)

開館時間 10:00～16:30 (入館は16:00まで)
休 館 日 創立記念日(9/25)・入試期間
入 館 料 一般・300円、大・高生200円、小・中生100円

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見一丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324